

12面から続く

回数接種している場合、残りの回数を4種混合で接種することが可能です。7歳6カ月になるまでに、規定の接種間隔を守り接種を完了してください。
3種混合とポリオの接種回数が異なる場合は保健センターへお問い合わせください。

●日本脳炎予防接種について

平成7年6月1日～19年4月1日生まれの方は、20歳になる誕生日の前日まで日本脳炎の定期予防接種を受けられます。平成7年生まれの方は、今年度20歳の誕生日を迎える方で、特にご注意ください。

第一期の予防票は市内実施医療機関にあります。ご希望の方は母子健康手帳で不足回数を確認し、予防接種をお受けください。接種の際には整理番号が必要です。ご不明な場合は保健センターへお問い合わせください。また、小学4年生以上で第一期の追加接種までお済みの方は、第二期の接種が受けられます。第二期は、第一期追加接種後5年ほど間隔を空けて接種すると効果的です。第二期の予防票は母子健康手帳をご用意のうえ、保健センターへお申し込みください。なお、平成7年6月1日～10年4月1日生まれの方の第二期の予防票は、市内実施医療機関にあります。



講座・教室

●ヘルシーキッズスクール
①7月6日(月)・②10日(金)、午前10時～11時30分(全2回)
①親子での運動 ②食生活、歯科保健 ③2歳のお子さんと保護者25組 ④飲み物、筆記用具、歯ブラシ(②のみ) ⑤6月11日(木)から

●楽しく作っておいしく食べよう! 「男性料理教室」
①6月26日(金)、午前10時～午後1時 ②ヘルスメイト(食生活改善推進員)による講話と調理実習 ③30人 ④400円 ⑤6月12日(金)から
●ヘルシークッキング
「食育レシピ」を楽しもう!
①6月30日(火)、午前10時～午後1時 ②講話と調理実習 ③24人 ④500円 ⑤6月9日(火)から
●先手必勝!! 痛み予防教室
～腰痛編～
①6月29日(月)・7月13日(月)、午前10時～11時30分(全2回)
②理学療法士による腰痛についての講話と、家で簡単にできる体操やストレッチ ③市内在住で、医師による運動制限のない方20人 ④運動のできる服装、バスタオル、水分補給用の飲み物 ⑤6月9日(火)から

●みんなで覚えよう!
ハッポちゃん体操公開練習
参加してポイントを貯めるとハッポちゃんグッズがもらえます(数に限りがあります)。
①6月8日(月)、北越谷地区センター ②6月15日(月)、蒲生地区センター ③6月26日(金)、新方地区センター ④7月6日(月)、越ヶ谷地区センター。いずれも午前10時～11時30分 ⑤水分補給用の飲み物 ⑥当日会場へ
●小児慢性特定疾病医療費給付の継続申請の受付
①6月24日(水)～7月31日(金)(土曜・日曜日、祝日を除く) ②現在受給者証をお持ちの方で、引き続き治療が必要な20歳未満の方 ③申請書、医療意見書等*対象の方に、申請に必要な書類等を記載した案内を5月中旬に郵送しました
●骨粗しょう症予防教室(結果説明会)
①6月25日(木)、保健センター

①7月1日(水)、蒲生地区センター。いずれも午後1時30分～3時30分 ②医師による骨粗しょう症の病態・予防などに関する講演、栄養士・保健師による栄養・運動・日常生活についての講話 ③骨粗しょう症に関する方 ④無料 ⑤筆記用具 ⑥6月10日(水)から
●協力ください
①6月25日(木)、午前10時～11時45分、午後1時～4時 ②陽市役所本庁舎1階ロビー ③保健総務課 ☎973-7530
*越谷レイクタウン献血ルーム(☎0120-1137-137)で献血ができます。全血は午前10時～午後5時30分。成分献血は午前10時～午後0時30分、午後2時～4時30分。そのほかの献血場所は日本赤十字社のホームページで検索できます



越谷市医師会
越谷泌尿器科・内科
☎961-7701
ながね ゆうすけ
長根 裕介

前立腺がん検診を受けましょう

毎日の診療で前立腺がんの患者さんが多くなったと感じる一方、越谷市の前立腺がん検診を受けていない方の多さにも驚いておられます。皆様ご家族に穏やかな生活を送っていただくために、前立腺が

んのお話をさせていただきます。前立腺は、男性の膀胱の下にあり、精液の一部を作っている栗くらいの大きさの生殖器です。前立腺がんは、近年最も増加しているがんです。

他のがんに比べると進行が遅く前立腺に留まって発見されることがほとんどで、早期に発見すれば手術や放射線治療で根治が可能です。しかし進行すると増殖、浸潤し他臓器へ転移します。進行した状態で発見された場合は、薬による治療(ホルモン療法、化学療法など)を行うのですが、残念ですが治療を行っても生存率は低くなります。

我が国の前立腺がんによる死亡数は、約1万2000人で男性がん死亡全体の約5%です。本年3月に国立がん研究センターから発表された

2011年にがん罹患した全国推計値報告書によると、推計罹患数はがん全体で85万1537人、前立腺がんは男性の前年4位から2位(7万8728人)になりました。罹患率は加齢とともに増加し65歳前後から顕著に高くなります。年齢調整罹患率は1975年以降増加していますが、その理由のひとつは、採血するだけの簡単な診断方法の普及が挙げられます。

高年齢になると前立腺肥大症による排尿困難、頻尿などの症状が出る場合があります。早期の前立腺がんには症状はほとんどなく、症状の有無だけではがんの判定はできません。検診では、まず血液検査でPSA(前立腺特異抗原)の数値を測定し、これが高値の場合は泌尿器科専門医でさら

第9回 「市民と薬剤師で共に考えよう！」

〈日 時〉6月14日(日) 13:00～15:00 (開場は12:30)
 〈場 所〉中央市民会館劇場
 〈内 容〉1、講演「ドクターらく朝の笑って健康」
 講師は立川らく朝さん
 (落語家、表参道福沢クリニック院長、医学博士)
 2、特別講演「飲みにくい薬、飲みたくない薬ありますか?」
 ～クスリとの上手な付き合い方～
 講師は亀井美和子さん(日本大学薬学部教授)
 〈費 用〉無料
 〈申込み〉当日会場へ
 ①(一社)越谷市薬剤師会 ☎960-4100

保健所からのお知らせ
蚊が媒介する感染症の予防対策

これから蚊が発生する季節を迎えます。昨年、蚊が媒介する感染症であるデング熱の国内感染が、約70年ぶりに確認されました。

感染症を防ぐためには、「①蚊を増やさない」「②蚊に刺されない」ことが重要です。

①蚊を増やさない
デング熱を媒介する蚊は、植木の受け皿やプラスチック容器などにたまった雨水など、小さな水たまりで発生します。日ごろから住まいの周囲の水たまりをなくすように心がけましょう。

②蚊に刺されない
屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意しましょう。

*これらの対策は10月下旬ごろまで行いましょう
 ③蚊の駆除について…生活衛生課 ☎973-7532、感染症について…保健総務課 ☎973-7531